

保護者アンケート

○実施日 平成30年6月7日～6月13日

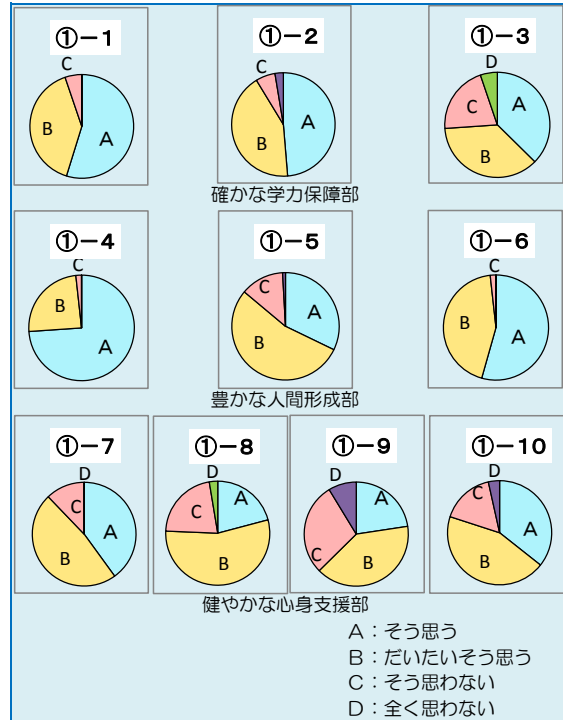
第1回保護者アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございます。保護者の皆様のご協力を心から感謝いたします。集約結果を十分に検討し、今後のドバイ日本人学校の教育活動充実のために生かしていきたいと思っております。

①子どもの様子

保護者の方から見たドバイ日本人学校の子どもたち
～今年度初めてのアンケート～

【確かな学力保障部】
①-1では、A・B評価合わせて94.8%、①-2においても90.3%の方は定着していると答えており、概ね達成できたと考えます。担当による宿題の内容や量を検討し、児童生徒の自主的な学習習慣の定着につなげる。
読書習慣においては、①-3の通りA・B評価の合計が73.9%となり、前年度後期の結果よりも上がった。読書時間の徹底や読書カード等の活用により、読書に親しむ児童生徒が増えたと考えます。今後は、家庭における読書習慣の定着に向けた支援にも力を入れていきたい。また、昨年度に引き続き読書環境の整備と蔵書の充実を行っていく。

①子どもの様子		評価	18前期
確かな学力保障部	①-1	A	54.8
		B	40.0
		C	5.2
		D	0.0
	①-2	A	48.7
		B	42.6
		C	6.1
		D	2.6
	①-3	A	37.4
		B	36.5
		C	20.9
		D	5.2
豊かな人間形成部	①-4	A	73.9
		B	24.3
		C	1.7
		D	0.0
	①-5	A	32.2
		B	53.9
		C	13.0
		D	0.9
	①-6	A	53.9
		B	43.5
		C	1.7
		D	0.0
健やかな心身支援部	①-7	A	40.0
		B	47.8
		C	12.2
		D	0.0
	①-8	A	20.9
		B	54.8
		C	21.7
		D	2.6
	①-9	A	22.6
		B	40.0
		C	28.7
		D	8.7
①-10	A	35.7	
	B	44.3	
	C	16.5	
	D	3.5	



【豊かな人間形成部】
各項目のA・B評価の合計結果は、全ての項目で85%を超えており、高い数値を示している。①-4「友達となかよく、楽しく生活している」のA・B評価の合計は98.2%となることから、多数の児童生徒が学校において、望ましい人間関係を築いていることがわかる。①-5「自分に自信を持っている」については、昨年度A・B評価より微増となっている。2学期に行われる熱沙祭や人権週間などの取組を通して、より児童生徒の自己肯定感や有用感を高めさせ、さらに自信をもって学校生活を送ることができるよう、支援を続けたい。①-6「友達に思いやりをもって接している」では、前述の項目と同様、A・B評価が大多数を占めている。道徳の授業を中心に、普段の授業や活動を通して、児童生徒の互いに信頼して助け合おうとする心情を、継続して育てていきたい。

【健やかな心身支援部】
①-7「進んであいさつをしている」の項目では、A・B評価の合計が87.8%と高い数値を示している。今後も委員会活動との連携を図り、100%に近い数値を目指していく。①-8「時間のけじめをつけて生活している」の項目では、C・D評価の合計が24.3%と全体の4分の1が時間に関する意識が低いことが分かる。学校生活で基本的な生活習慣を身に付けさせながら、家庭での実践力を高める必要を感じる。①-9「整理整頓に気を付けて生活している」の項目では、約4割の児童・生徒が整理整頓に課題があることが分かる。学級担任との連携に努め、効果的な声掛けやチェック体制を整えていく。①-10「たくさん身体を動かしている」の項目を見ると、家庭でなかなか身体を動かす機会が少ない児童・生徒が20%程いることが分かる。一方、学校ではさわやかタイム（長縄）に対して意欲的に取り組む姿勢が見られる。家庭での運動機会を増やせるように、長期休業中などに取り組みやすい運動方法を提案していく。

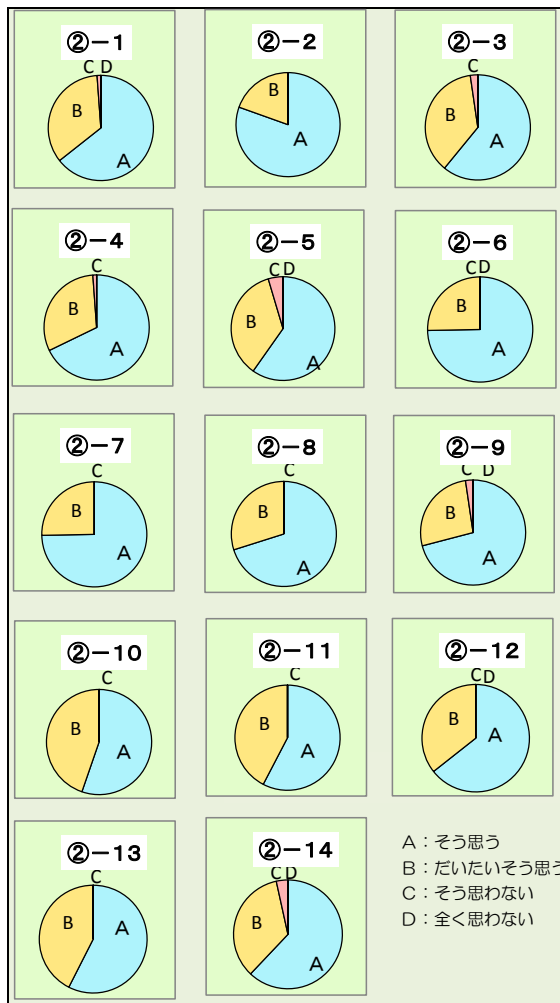
②学校の教育活動

ほぼすべての項目でA評価、B評価あわせて約90%以上
今後への継続・推進 「学習環境作り」やや課題あり

・どの項目においても、A・B評価合わせて90%を超えている。課題としては、3つに大別できる。1つめは、「保護者に分かりやすく説明する」ということである。教育方針やそれぞれの活動の様子がよく伝わっていないようである。2つめは、体力作りである。昨年度の同時期の結果と比べても評価がかなり下がっていることが分かる。3つめは、国際性育成のための活動についてである。具体的には、現地理解講座、現地校交流についての評価が低下している。これは、やっていることが十分に保護者に伝わっていないこと、交流相手が限定されていること、活動内容がマンネリ化してきていることなどが考えられる。これら3つについては、2学期の重点努力事項として取り組んでいく必要があるものとする。

②学校の教育活動	評価	18前期
②-1 学校は全体懇談会等で教育方針・教育内容をわかりやすく伝えている。	A	64.4
	B	34.5
	C	1.1
	D	0.0
②-2 学校は授業及び学校行事を参観する機会を適切に設けている。	A	80.5
	B	19.5
	C	0.0
	D	0.0
②-3 アンケート等を行い改善に努めている。	A	60.9
	B	36.8
	C	2.3
	D	0.0
②-4 児童生徒の安全確保に心がけ、努力している。	A	67.8
	B	31.0
	C	1.1
	D	0.0
②-5 きれいで落ち着いた学習環境づくりのために努力している。	A	59.8
	B	35.6
	C	4.6
	D	0.0
②-6 児童生徒のことについての連絡や相談に適切に対応している。	A	74.7
	B	25.3
	C	0.0
	D	0.0
②-7 たより・HP等で、学校、学年(学級)の取り組みをよく伝えている。	A	74.7
	B	25.3
	C	0.0
	D	0.0
②-8 児童生徒の学力向上に向けて努力している。	A	70.1
	B	29.9
	C	0.0
	D	0.0
②-9 朝読書や読み聞かせ等、読書教育充実のために努力している。	A	70.1
	B	26.4
	C	2.3
	D	0.0
②-10 児童生徒の心の教育のために努力している。	A	54.0
	B	43.7
	C	0.0
	D	0.0
②-11 子供の間違っただ行動には適切に指導している。	A	56.3
	B	41.4
	C	0.0
	D	0.0
②-12 「あいさつ・じかん・くつならべ」の達成のために努力している。	A	64.4
	B	35.6
	C	0.0
	D	0.0
②-13 児童生徒の体力向上に向けて努力している。	A	57.5
	B	42.5
	C	0.0
	D	0.0
②-14 現地校交流・現地理解講座等を通して児童生徒の国際性を育てている。	A	62.1
	B	34.5
	C	3.4
	D	0.0

アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。
今後も本校学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自由記述【評価理由・意見・要望等】

- ・国際性、外国語活動を活発にするために、放課後の英会話やスポーツのアクティビティなどをもっとやって欲しい。日本人ではなく、ネイティブの人に来てもらって何かやってほしい。
- ・現地校交流の相手校を他のインター校にも広げるべきではないか。
- ・一部の授業で集中できない児童がいるようです。他の児童もいるので指導をお願いします。
- ・アラビア語、英語のレベルが他の外国籍学校に比べるとかなり低いように思います。せっかく週何時間を当てているのに、内容のスタンダードの低さを懸念しています。
- ・学校公開日(公開時間)をもう少し設けていただくと嬉しいです。
- ・親が学校に来て、様子が分かる機会がたくさんあって良かったです。しつけに関することにも取り組んでいただき感謝します。
- ・クラスで協力する機会を作ってもらえることで、協力・団結する姿がとても良いと思います。学級通信や中学部通信などで、子どもから聞けない学校の様子を写真入りで知ることができ、ありがたいです。
- ・図書室がもっと充実していたら良いと思います。
- ・校舎の造りが明るく、親しみやすいこと、先生方が温かく対応されること、安全面にしっかり配慮されていることで、安心して学校に送り出すことができます。
- ・中学部通信の発行や、キャリアレクチャー等、今までなかった試みがとても良いと思います。
- ・英語教育にもっと力を入れれば、入学希望者が増えるような気がします。